

# ソーシャルメディアは政治を変える？

7月24日(金)18時40分～@NEWSハーバー・入場無料  
＜「横浜FutureCafe」連携事業＞

今月からスタートする「横浜メディア研究会」(略称：横浜メディ研)初回のテーマは「ソーシャルメディアは政治を変える？」。

「ルポー米国ブログ革命」(集英社新書)著者の池尾伸一・東京新聞経済部記者を招き、オバマ・米大統領のソーシャルメディア戦略と一般市民の政治参加プロセスの変化について報告していただきます。

また、米国の自治体・政府・政治家のICT活用の最新情報や次期衆院選県内立候補予定者の主張を動画配信するサイト「e国政神奈川」担当者による企画説明、実際にソーシャルメディアを活用する神奈川県内の地方議員の方たちによるディスカッションを行います。

**日時** 2009年7月24日(金)18時40分～21時 (18時15分受付開始)

**場所** tvkヨコハマNEWSハーバー (横浜市中区太田町2-23)  
JR関内駅、横浜市営地下鉄関内駅、MM線馬車道駅から徒歩5分  
<http://www.newsharbor.tv/access/>

**参加費** 無料(飲食費実費、定員100名：先着順)

**主催** 「横浜メディア研究会」準備事務局

## 開催趣旨

直前に迫った衆議院解散、そして「政権交代」を問う総選挙を控え、「政治」に対する関心が高まっています。12日に投開票された東京都議選では投票率が前回比で10ポイント上昇、投票率54%となりました。4月以降の大型地方選から続く「投票率上昇」は、政治家の選択に対する有権者の関心の高さを裏付けています。有権者が、政治家の活動をチェックし、選挙時には政策・理念などを知って、比較検討するためには、多様な情報提供が欠かせません。

情報コミュニケーション技術(ICT)は、これまで「政治家→マスメディア→有権者」という一方通行のメインストリームしかなかった情報の流れを決定的に変えつつあります。

政治家・有権者双方がブログ、SNS、Twitter、YouTubeなどの「ソーシャルメディア」を駆使できる環境が整い、個が相互に情報を発信・受信し、引用しあう状況が生まれています。

今回は、当事者による多様な情報の流通が、政治を変えていく可能性について、会場のみなさんとともに考えていきたいと思えます。

## ゲスト

＜講演＞『米大統領選のゲームを変えたソーシャルメディア』

◇池尾伸一氏 東京新聞 経済部記者、「米国発ブログ革命」(集英社新書)著者  
▽プロフィール

1965年、愛知県名古屋生まれ。89年、早稲田大学政治経済学部卒。

中日新聞に入社後、経済部で日銀、財務省、内閣府などを担当する。

1999年～2000年、アメリカ・コロンビア大学東アジア研究所研究員。

05年5月から中日新聞・東京新聞ニューヨーク特派員。08年5月から経済部に所属。

「米国発ブログ革命」(集英社新書、2009年6月発刊)著者 <http://bit.ly/15fXxy/>



<事例紹介> 「ザ・選挙～全国政治家データベース」とは？

◇神山玄太氏 『ザ・選挙』編集部 候補者動画PRレ国政」担当者  
インターネット新聞「JANJAN」（日本インターネット新聞社）  
<http://www.senkyo.janjan.jp/>

<ディスカッション>

◇阿部よしひろ氏 相模原市議、無所属 <http://abr.jp>  
◇伊藤ひろたか氏 横浜市議、無所属クラブ <http://hiro-chan.net>  
◇藤野 英明氏 横須賀市議、無所属 <http://www.hide-fujino.com>  
◇篠原慎一郎氏 神奈川新聞社 編集局長 <http://www.kanaloco.jp>  
◇池尾伸一氏、神山玄太氏  
▽進行 宮島真希子氏（神奈川新聞社 記者）

<ウェブ出演者（中国・北京より）>

◇庄司昌彦氏 国際大学 GLOCOM 講師／主任研究員  
<http://mshouji2.cocolog-nifty.com/>  
[http://mshouji2.cocolog-nifty.com/makolog/2009/06/post\\_2dfb.html](http://mshouji2.cocolog-nifty.com/makolog/2009/06/post_2dfb.html)  
[http://mshouji2.cocolog-nifty.com/makolog/2009/06/twitter\\_5dfc.html](http://mshouji2.cocolog-nifty.com/makolog/2009/06/twitter_5dfc.html)

**構成**

- 1) あいさつ
- 2) 池尾氏講演
- 3) 「ザ・選挙」事例紹介
- 4) ディスカッション
- 5) 横浜メディア研活動紹介
- 6) 懇親会

※ tvk インターネット放送のテスト運用として、当日、現場の生放送を予定しています。  
ネット放送の視聴者もチャットや Twitter（ハッシュタグは #ymlp）で参加できます。

.....

本事業は横浜市「創造都市横浜推進事業補助金」及び、横浜市芸術文化振興財団のアーツコミッション・ヨコハマ「企業による創造活動促進助成」を受けている「tvk 横浜 FutureCafe」の連携事業として実施します。

★ ★

「横浜メディア研究会」は、横浜市内でメディア・コンテンツ事業にかかわっている方や関心がある方のネットワークです。8月上旬より活動を開始する予定です。

▽詳細はこちら↓

tvk 横浜 FutureCafe： <http://www.newsharbor.tv/futurecafe/>

横浜メディア研究会： <http://mediken.blogspot.com/>

**問い合わせ**

「横浜メディア研究会」準備事務局 TEL:045-309-9944  
(NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ内 info@yokohamalab.jp)

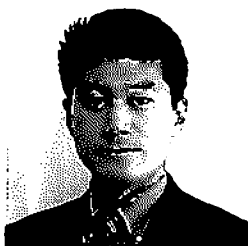




**伊藤ひろたか氏**  
(横浜市議)

無所属 (無所属クラブ副団長)  
資源循環・環境創造委員会  
大都市行政財政制度特別委員会  
<http://hiro-chan.net/>

1977年生まれ。私立駒場東邦高校卒業、早稲田大学大学院理工学研究科修了。2002年、日経BP社入社。日経エレクトロニクス編集部記者として環境政策や知的財産権、ITなどを主に担当。06年12月同社退社後、江田憲司衆議院議員の門をたく。07年、横浜市議会選挙で初当選。08年、第3回マニフェスト大賞にて最優秀アイデア賞受賞。財政、経済、子育て、教育、危機管理の4分野に特に注力。



**阿部よしひろ氏**  
(相模原市議)

無所属 (新政クラブ)  
総務委員会 (委員長)  
議会運営委員会、水源地域対策特別委員会  
<http://abn.jp/>

1970年生まれ。神奈川県立相模原高校卒業、龍谷大学大学院文学研究科西洋哲学専攻修了。IT関係企業勤務等を経て、2003年より相模原市議会議員 (現在2期目)。現在、市議会では保守系最大党派「新政クラブ」所属。家庭では子ども二人のよき父親 (のつもり)。地域活動は消防団、青年会議所、農協青壮年部など。



**藤野 英明氏**  
(横須賀市議)

無所属 (無会派)  
教育経済常任委員会  
<http://www.hide-fujino.com/>

1974年生まれ。早稲田大学教育学部 (臨床心理学専攻) 卒。東宝 (映画興行部、財務部) にて5年勤務の後、2003年、横須賀市議初当選。現在2期目。後援会組織を持たない。06年、全国の地方議員と「地域の自殺対策を推進する地方議員有志の会」設立、初代代表を3年間務める。07年、第2回マニフェスト大賞にて「ベストホームページ賞」にノミネート。精神保健福祉士。



**神山 玄太氏**  
(日本インターネット新聞社)

『ザ・選挙』編集部 候補者動画PR「e国政」担当者  
インターネット新聞「JANJAN」  
<http://www.senkyo.janjan.jp/>  
[http://blog.livedoor.jp/genta\\_kamiyama/](http://blog.livedoor.jp/genta_kamiyama/)

2006年金沢大学法学部卒業。2008年早稲田大学大学院公共経営研究科修了。同年、日本インターネット新聞株式会社入社。日本で行われるすべての選挙情報を掲載している「ザ・選挙～全国政治家データベース」を手がける「ザ・選挙」編集部配属。注目選挙の取材や政治家動画の撮影などを行ってきた。2009年は都議選や衆院選に向けた政策動画「e都政」、「e国政」を担当。



**篠原慎一郎氏**  
(神奈川新聞社)

編集局長  
<http://www.kanaloco.jp>

1956年生まれ。早稲田大学第一文学部卒。82年、神奈川新聞社入社。編集局報道部 (県警・司法担当)、整理部、川崎支局長、県警キャップ、整理部デスク、報道部デスクなどを経て、神奈川新聞ウェブ「カナロコ」編集長だった2005年、社内新聞社としては初めて、ブログシステムを活用した双方向コミュニティサイト「カナロコ」立ち上げにかかわる。その後、文化、報道部長などを経て、2009年6月から現職。



**宮島真希子氏**  
(神奈川新聞社)

記者 (報道部・教育担当)  
<http://www.kanaloco.jp>

1988年神奈川新聞社入社。川崎総局、運動部、報道部、小田原支局、経済部、整理部 (以上すべて編集局) を経て、2003年5月デジタルメディア局へ異動。2005年2月、社内新聞社で初めてウェブログをCMSとして導入したコミュニティサイト「カナロコ」の企画・開設に携わる。09年1月から編集局報道部 教育担当。